

令和4年2月市長定例記者会見

日 時：令和4年2月2日（水） 午後2時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
エフエムいみず、庄東タイムス、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、財務管理部長、企画管理部次長、未来創造課長、
人事課長、新型コロナウイルスワクチン接種推進班長、
学校教育課長、生涯学習・スポーツ課長

○質疑応答の概要

Q 1. 12歳未満の子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種についてどう考えているか伺いたい。

A 1. 国においては、5～11歳の方の感染状況、諸外国の対応状況及び小児に対するワクチンの有効性・安全性を整理したうえで厚生労働省の厚生科学審議会で議論が行われており、3月から接種を開始できるように体制を整備しようということになっている。本市においてもこうした方針を受け、現在医療機関に接種の可否を確認している。現在のところ、これまで小児の定期接種に対応していただいている市内10の医療機関で、協力したいという話をいただいている。現状としては、国の状況を注視しながら、3月から接種開始ということになれば市内の10の医療機関で接種の体制を整えていく方針である。

Q 2. 学校や保育園への新型コロナウイルス感染症の影響について、休校、休園、リモート授業など、どのような対応をしているのか伺いたい。

A 2. 陽性の生徒や児童が確認された場合、まず厚生センター射水支所との連携を図りながら対応について協議している。陽性の方がいるとわかっただら、施設を一旦休業して消毒し、その間に陽性の方の濃厚接触者や行動範囲を特定して検査対象の方を把握し、影響のない場合については施設を再開する対応をしている。一方で、感染が多く確認されているところについては、その後の感染の広がりを見極めながら、安全を確保し再開を検討していく。

Q 3. 新型コロナウイルス感染症の第6波で休校・休園になった学校や保育園はどのくらいあるのか。

A 3. 市においては県と同様に具体的な学校名を公表していない。そういうことから、どれくらいの学校や保育園が休校・休園しているかについても非公表とさせていただいている。なお、関係の方、地域の方には情報提供をしている。

Q 4. 富山市の事件を受けて、談合の防止対策に変化があったか伺いたい。

A 4. 契約、入札業務においては公平公正を旨とし、市民からの信頼を失うようなことはあってはならないということを念頭に業務の取扱いに努めている。市の職員が関係企業等に情報を流すようなことがあってはならないのはもちろん、あらぬ疑いをかけられることもないよう努めている。今回の富山市の官製談合の事例を受けて新たに何か行うという予定はない。

Q 5. 新型コロナウイルス感染症の影響で休校する学校がある中、現在、オンライン授業を実施しているのか、もしくは今後実施する可能性があるのか伺いたい。

A 5. 射水市においては児童生徒一人につき一台のタブレット配備が完了しており、休校になった際にはタブレットを持ち帰ることができるので、父兄のご理解もいただきながらオンライン授業についても対応していく。ただ完全オンラインという形ではなく、現状は休校といっても消毒の期間が1日2日なので、健康観察のやり取りをオンラインで実施している。今後感染がさらに拡大して長期の休校が必要になった場合は、オンライン授業を活用した指導を行うことも考えていかなければならない。

Q 6. モデルナ社のワクチンの予約がとりやすいとのことだが、ワクチン予約枠は完全に埋まっていない状況なのか。

A 6. 現在接種券を送っているところなので、予約枠に対する接種券を送った方の数との兼ね合いもあるかと思うが、現状においては、モデルナ社のワクチンを扱う接種会場については、まだ予約枠に余裕がある。

Q 7. 新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た学校施設の具体的な情報は公表できないそうだが、現在高校受験を控えている中学校などでクラスターが発生したということはあるか。

A 7. クラスターについては、発生があれば県から随時報告されており、市ではそれを上回る情報は出せない状況である。

Q 8. 新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た学校の具体的な学校名までは出せなくても、総数だけでも公表できないのか。

A 8. 学校や保育施設の休業については、射水市においては陽性者が出たことが確認された段階で施設の消毒などを行うことから厚生センターと協力しながら休業し、その間に業者に消毒していただいている。他市においては業者を入れずに関係者だけで消毒するところもあり、そういった意味でも、一律に休業施設の数字を並べるのは適切なのかと考えている。

Q 9. 高校受験を控えている中学3年生が新型コロナウイルス感染症の陽性者になり、やむを得ず受験を断念せざるを得なくなったという事例はあるか。

A 9. 新型コロナウイルス感染症の影響で受験できなかった場合には、私立高校であればそれぞれの学校において対応されることになると思う。また、県立学校については今後県の教育委員会とも検討、協議を行っていく対象になると考えている。

Q 10. 子ども議会について、もっと子どもに意見表明をしてもらう等、運営の仕方の見直しをする考えはあるか。

A 10. 子ども議会は、議会とはどういうところか、どういうことをするのか、どういう仕組みで物事を決めているかなどについて理解を深める機会にしている。今の子ども議会の仕組みだと子どもから何らかの提案をしてもらうというのは時間的に難しいが、地域の将来を担っていく子どもたちの多様な意見を聞く機会というのは、何らかの形で考えていければと思っている。議会という形がいいのか、また違う形がいいのかについては検討していく必要があると考えている。